

▽▲組合活動レポート▲▽

ITF SEAFARER'S EXPO 開催 3日間で約5千人が参集 ①

国際局 外航部

「ITF SEAFARER'S EXPO」がマニラ首都圏パサイ市のベイエリアにおいて開催された

ITF SEAFARER'S EXPO は、前回 2010 年 6 月にマニラのルネタ船員センター（ルネタ公園）にて第 1 回が開催されて以来、13 年ぶり 2 回目の開催となった。

フィリピンにて開催されるのは、フィリピンが世界最大の船員供給国であり、ITF の諸活動、ITF 加盟組合の活動、船員職業の紹介、船員の持つ権利および健康管理方法などを周知し、フィリピン人船員とその家族へ、ITF や ITF 関連団体の諸活動や世界の海運産業および船員職業の認識を広げ、船員の権利と利用できる機会・サービスなど ITF のさまざまなサポートを周知し教育することを目的としており、船員が船内で健康を保ち、幸福を得ること、職業上の成長を確保するという ITF の取り組みの一環として実施された。

今回のエキスポは「ITF FOC キャンペーン 75 周年」に合わせて開催されており、多くの ITF インспекターが参加し、船員へ便宜置籍船で働く船員の権利について教育することで、世界中の船員にとって、より安全で公平な労働環境を作り出すという ITF の活動のための重要な機会となった。雨期に入ったフィリピンであるが、エキスポが開催されている間、天気にも恵まれ雨は降らず、初日から多くの船員とその家族が訪れ盛況となった。

6 月 23 日午前 11 時、会場中央にあるステージへ、ITF のスティーブ・コットン書記長、フィリピン政府から移民労働者省のスーザン・オブレ大臣、マーティン・ロムアルデス下院議長、レイモンド・メンドーサ下院次席報道官、AMOSUP の Dr.コンラッド・オカ組合長、APSU のマイケル・メンドーサ組合長、MAAP のエドゥアルド・サントス校長、IMEC のベラル・アーマド会長および ICS のジェラード・ボロメロ副会長が登壇され開会式が行われた。

「海員だより」

//// 用語解説 ////

I T F	国際運輸労連	F O C	便宜置籍船・仕組船
A M O S U P	フィリピン船舶職員・部員組合	A P S U	フィリピン船員組合
M A A P	アジア太平洋海事大学	I M E C	船主団体
I C S	国際海運集会所		
ITF インспекター	1971 年に設けた制度で I T F に加盟する船員・港湾労働組合に雇用されており、入港船を訪れて、労働協約のない船に対する協約締結の推進、協約内容の点検、乗組員からの苦情処理などを行っている。日本では 1982 年 11 月からインспекターが配置され、多くの成果をあげている		